

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ザーコリ
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	三沢 昌史
適応がん種	非小細胞肺癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NSCLC-46
登録日・更新日	2012年8月1日・2017年8月22日
削除日	
出典	ザーコリ添付文書・適正使用ガイド
入力者	小倉宏之

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	ザーコリカプセル	200,250mg	250mg/回	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(経口)	2回/日	連日

1コースの期間	設定なし																														
投与間隔の短縮規定	設定なし																														
計算後の投与量上限値	110%																														
計算後の投与量下限値	50%																														
減量・中止基準	<p>【初回投与基準】 ANC \geq 1,500/μl Hb \geq 8.0g/dL Plt \geq 3万/μl T-Bil \leq 2.0mg/dL AST \leq 100IU/L ALT \leq 100IU/L S-Cr \leq 1.5/dL</p> <p>【中止・減量基準】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>副作用</th> <th>グレード 1</th> <th>グレード 2</th> <th>グレード 3</th> <th>グレード 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血液系(注1)</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は休薬前と同回から投与を再開</td> <td>グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注2)</td> <td>グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注2)</td> </tr> <tr> <td>グレード1以下の血中ビリルビン増加を伴うALT又はAST上昇</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注3)</td> <td>グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注3)</td> </tr> <tr> <td>グレード2-4の血中ビリルビン増加を伴うALT又はAST上昇(注4)</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>投与を中止</td> <td>投与を中止</td> </tr> <tr> <td>間質性肺炎</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>投与を中止</td> <td>投与を中止</td> </tr> <tr> <td>QT間隔延長</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>同一投与量を継続</td> <td>グレード1以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開</td> <td>投与を中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>グレード評価はCTCAEによる 注1: 日和見感染症等の臨床的事象を伴わないリンパ球減少症を除く (注2) 再発の場合: グレード2以下に回復するまで休薬。回復後は250mg1日1回に減量して再開。その後グレード4の再発が認められる場合は投与を中止 (注3) 再発の場合: グレード1以下に回復するまで休薬。回復後は250mg1日1回に減量して再開。その後グレード3の再発が認められる場合は投与を中止 (注4) 胆汁うっ滞又は溶血がある場合は除く</p>	副作用	グレード 1	グレード 2	グレード 3	グレード 4	血液系(注1)	同一投与量を継続	グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は休薬前と同回から投与を再開	グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注2)	グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注2)	グレード1以下の血中ビリルビン増加を伴うALT又はAST上昇	同一投与量を継続	同一投与量を継続	グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注3)	グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注3)	グレード2-4の血中ビリルビン増加を伴うALT又はAST上昇(注4)	同一投与量を継続	同一投与量を継続	投与を中止	投与を中止	間質性肺炎	同一投与量を継続	同一投与量を継続	投与を中止	投与を中止	QT間隔延長	同一投与量を継続	同一投与量を継続	グレード1以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開	投与を中止
	副作用	グレード 1	グレード 2	グレード 3	グレード 4																										
血液系(注1)	同一投与量を継続	グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は休薬前と同回から投与を再開	グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注2)	グレード 2以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注2)																											
グレード1以下の血中ビリルビン増加を伴うALT又はAST上昇	同一投与量を継続	同一投与量を継続	グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注3)	グレード1以下又はベースラインに回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開(注3)																											
グレード2-4の血中ビリルビン増加を伴うALT又はAST上昇(注4)	同一投与量を継続	同一投与量を継続	投与を中止	投与を中止																											
間質性肺炎	同一投与量を継続	同一投与量を継続	投与を中止	投与を中止																											
QT間隔延長	同一投与量を継続	同一投与量を継続	グレード1以下に回復するまで休薬。回復後は200mg1日2回から投与を再開	投与を中止																											
前投薬	なし																														
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> •ALK融合遺伝子陽性又はROS1融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に限る •Ccr=30ml/min未満の患者では慎重投与 																														

記入者	小倉宏之
確認者	三沢 昌史